

恵比寿ガーデンプレイス『Baccarat ETERNAL LIGHTS - 歓びのかたち-』
- アルミ製ショーケースを今年もリユース -



FA 向けアルミ製機器製品および建築用アルミ構造材の設計開発・製造・販売を手がけるSUS株式会社(静岡県静岡市、代表取締役社長:石田保夫 URL: www.sus.co.jp)は、恵比寿ガーデンプレイス(東京都渋谷区)にて開催される『Baccarat ETERNAL LIGHTS - 歓びのかたち-』の特別協賛社として、世界最大級のバカラシャンデリアを展示するショーケースをアルミで製作いたします。SUSがこのイベントに協賛するのは6年目となり、これまでに使用してきた部材をリユースするのは今年で5回目です。

アルミ押出材で作られた高さ10m、幅6m×6mの巨大なアルミ製ショーケースが、メイン展示となる重さ約1.8トンのシャンデリアを支えています。通常、鉄骨等の構造物は溶接を必要とするため、再利用には適さず、解体を前提として構築されています。しかし、アルミは精度が高くボルトによる接合だけで構造物を製作することができるため、組立や保管も簡便で繰り返し利用することができます。再利用を重ねることで、アルミの建築構造材としての高い強度や、優れたリユース性能を実証し、環境に優しい素材であるアルミの利点を示しています。

『Baccarat ETERNAL LIGHTS - 歓びのかたち-』は2011年11月3日(木・祝)から2012年1月9日(月・祝)までの期間、恵比寿ガーデンプレイス・センター広場をメイン会場に実施されます。SUSのアルミ製ショーケースが、恵比寿エリアの冬の風物詩ともいえるバカラシャンデリアの輝きを一層引き立てます。

※なお、ショーケース構築の着工は10月12日(水)を予定しています。

-SUS(エスユウエス)株式会社 概要-

- 【本 社】 静岡県静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ6F
【東京事業所】 東京都中央区日本橋小伝馬町1-7 スクエア日本橋3F
【事業内容】 FA(ファクトリーオートメーション)向け機械装置およびユニット機器製品の設計開発・製造・販売。
アルミ製住宅および建築用アルミ構造材の設計開発、製造販売。
アルミ製オーダーメイド家具およびアルミ建材の製造販売。
【事業拠点】 国内12拠点(静岡3拠点 仙台、福島、北関東、東京、長野、名古屋、滋賀、大阪、九州)
海外6カ国(タイ、シンガポール、中国、台湾、マレーシア、ベトナム)

本件に関するお問い合わせ

【クリスマス・イルミネーション概要】

Baccarat ETERNAL LIGHTS

— 歓びのかたち —

- タイトル : 『 Baccarat ETERNAL LIGHTS -歓びのかたち- 』
- 主催 : 恵比寿ガーデンプレイス、バカラ パシフィック株式会社
- 後援 : 在日フランス大使館
- 特別協賛 : SUS 株式会社
- 会期 : 2011年11月3日(木・祝)～2012年1月9日(月・祝)
〈ライトアップ時間〉
・「Baccarat 250 灯シャンデリア」 12:00～23:00
※点灯式／11月3日(木・祝) 16:30～
※但し、電力需要によっては時間を短縮する場合があります。
- 会場 : 恵比寿ガーデンプレイス・センター広場 (東京都渋谷区恵比寿 4-20)

【アルミ製ショーケースについて】

1.特別協賛にあたり

重さ 1.8t のバカラ シャンデリアを、「軽い・弱い」というイメージのあるアルミで吊るすことで従来のイメージを払拭します。また、これまで使用してきた部材を再利用した 5 回目のリユースに挑戦することで、アルミが建築の構造材として繰り返し利用できることを社会にアピールします。

2.アルミ製展示ケースの構造

中間に水平の補強部材を介在せずに、3階建ての高さに相当する大空間をアルミ素材で製作することは、建築業界でも初の試みです。

この展示ケースは、SUS 株式会社と山本理顕設計工場が共同開発したアルミ製ラチスパネル※を架構システムに利用しました。

ラチスパネルは、十字形の押出材をスライスした部材をトラス構造に組んでパネル化したもので、用途に応じてパネルの厚さを変えることができます。例えば比較的小さな建物では、幅(厚み)を薄くし、大きな構造物では逆に厚くすることで強度を自由に調節できます。

このショーケースでは、これまで壁面としてしか利用されなかったラチスパネルの厚みを増やし、柱の役割を持たせることで、吹き抜けの大空間を実現できたわけです。



▲アルミ製ラチスパネル

※ラチスパネルとは:

1.2m × 1.2mを基本モジュールとするパネルを、ブロックのように組み立てて建築の構造壁とする架構システム(特許出願中)。SUS 株式会社と山本理頭設計工場が共同開発。日本古来の「^{たすきがけ}襷掛け文様」あるいは「なまこ壁」で馴染みの深い X 字型格子材の連続面をファサードのコンセプトとしています。構造材としては通常の壁部材、あるいはブレース部材並みの高剛性・高強度を持ち合わせています。

3.アルミ製展示ケースの特長

(1)高いデザイン性を実現

従来のアルミ建築では壁面は四角で構成されていましたが、外壁を斜めに切ることで、斬新なデザインを実現しています。

(2)重量制限がある場所でも柔軟に対応できる軽量さ

恵比寿ガーデンプレイスの中庭は重量制限があり、どのような構築物を置いてもよいというわけではありません。重量制限がある場所では、ラチスパネルのように強度を有した軽量のアルミ部材は有効な建材といえます。

(3)組み立ての効率化

工場である程度組み立て、トラックで搬送できるので、現場での作業量を最小限にとどめられ、解体・再構築も容易です。工場で作業することにより、精度の高い組み立てを実現します。

4. 大まかなサイズとアルミの使用総重量

高さ約 10M、幅約 6M × 6M、約 9t

